

上田市文化財調査報告書第114号

# 市 内 遺 跡

平成23年度市内遺跡発掘調査報告書

2012. 3

上 田 市  
上 田 市 教 育 委 員 会

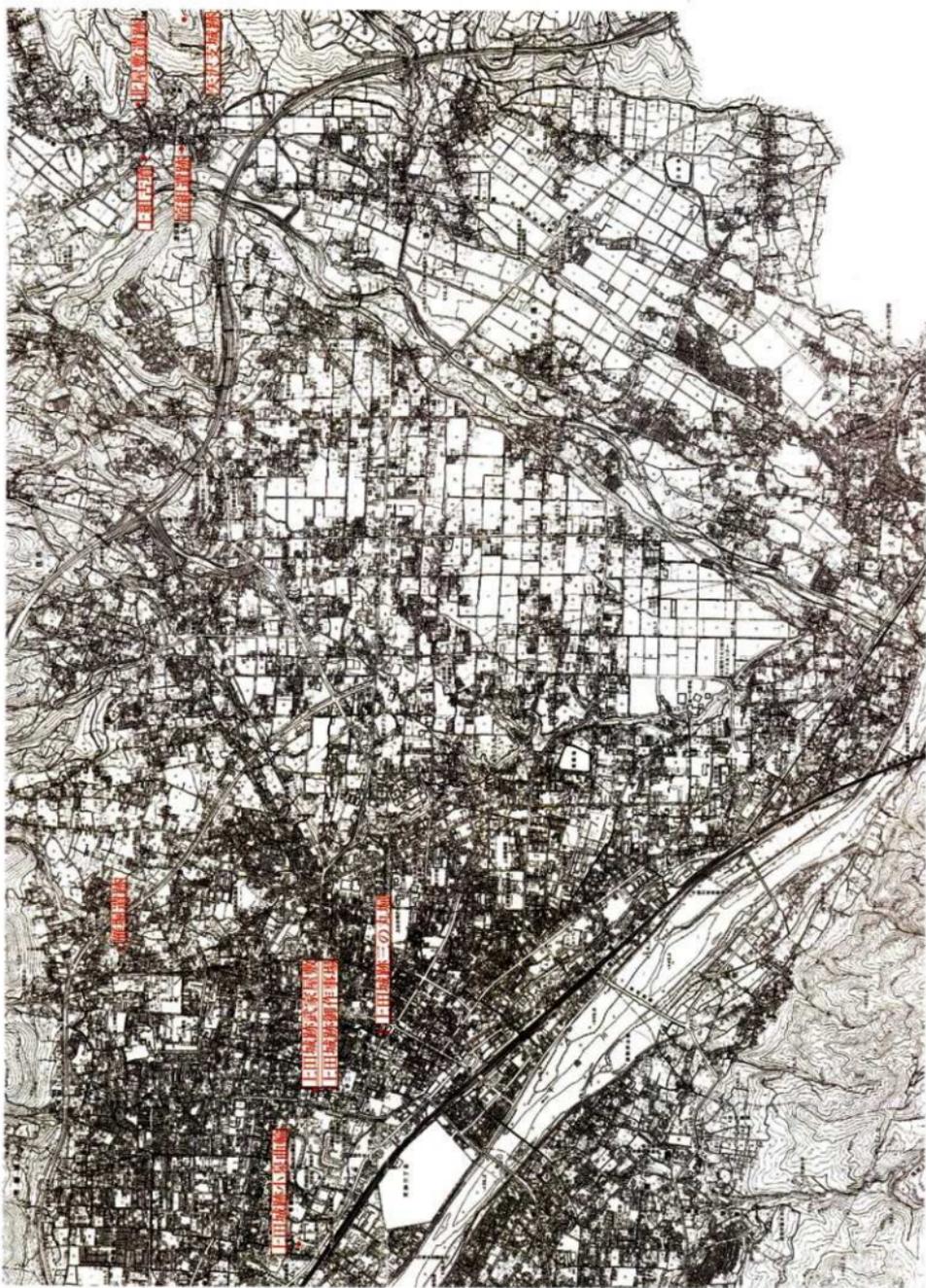
# 例 言

- 1 本書は長野県上田市における各種開発事業等に伴う遺跡確認のための、平成23年度市内遺跡発掘調査報告書である。
- 2 本文中の遺跡番号は、平成18年3月6日の上田市・丸子町・真田町・武石村の合併以前の市町村の番号を使用している。
- 3 調査は、国庫補助事業として上田市(事務局 上田市教育委員会事務局文化振興課)が実施した。
- 4 調査は、平成23年4月1日から平成24年3月25日まで実施した。
- 5 調査は、文化振興課の中沢徳士と和根崎剛が担当した。
- 6 調査は主として、バックホーによるトレンチ調査を主として行った。
- 7 調査にかかる資料は、上田市立信濃国分寺資料館に保管している。
- 8 調査にかかる事務局の体制は、次のとおりである。  
(教育長) 小山壽一 (教育次長) 小市邦夫 (文化振興課長) 土屋信之 (文化財保護係長) 久保田敦子  
(文化財保護係) 中沢徳士・小林伝・和根崎剛
- 9 調査に係る作業は次のとおり担当した。  
(現地調査) 中沢・和根崎 (整理作業) 中沢・和根崎・養場奈那江・大井敦子・山本万里  
(バックホーオペレーター) 和農興/竹内和好
- 10 調査にあたり、施工主及び関係機関並びに地域の方々に、日程調整及び発掘調査の承諾等でご協力をいただいた。深く感謝の意を表するものである。
- 11 本書の参考・引用文献は次のとおりである。  
『上田市の原始・古代文化 埋蔵文化財分布調査報告書』上田市教育委員会 昭和52年(1977年)  
『上田市文化財分布図』上田市教育委員会 平成8年(1996年)

# 目 次

## 凡例 目次

1 上田城跡三の丸堀	… 1
2 上田城跡(御作事場跡)	… 3
3 上田城武家屋敷跡	… 5
4 雁堀遺跡	… 7
5 宿組遺跡	… 9
6 矢沢古墳	… 11
7 北屋敷遺跡	… 13
8 矢沢氏支城跡	… 15
9 上田城跡(小泉曲輪)	… 17
写真図版	… 19
報告書抄録	… 28



# 1 上田城跡(三の丸堀跡)

- (1) 調査地 上田市中央二丁目3番1号
- (2) 遺跡番号 上田市060
- (3) 原因 店舗兼事務所及び老健施設建設
- (4) 調査日 平成23年6月13日
- (5) 調査方法 バックホーによるトレンチ調査
- (6) 調査面積 約100㎡
- (7) 調査担当者 中沢徳士

## 経過

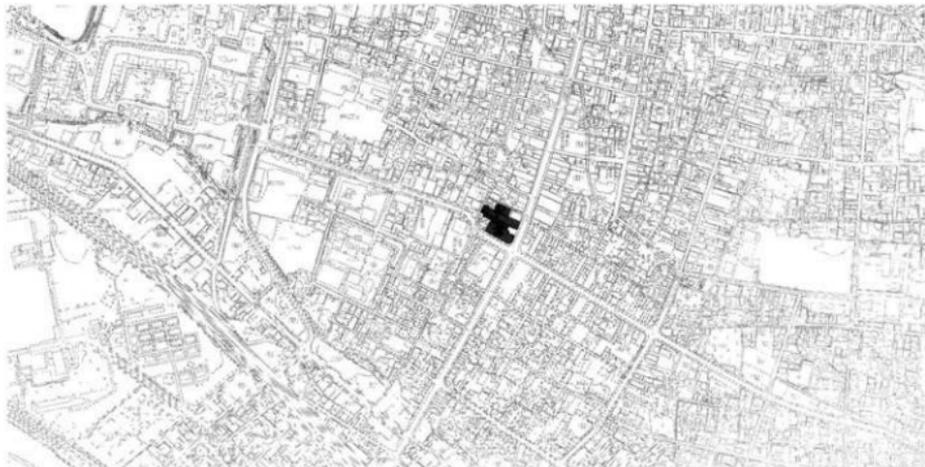
平成23年5月12日付けで㈱セブンイレブンジャパンから店舗兼事務所を建設するという届出があった。また同時に、北に隣接する土地でも社会福祉法人大志会が複合型老人福祉施設を建設する計画が持ち上がった。この2件の土地には、周知の埋蔵文化財包蔵地「海野遺跡」(遺跡番号319)と「上田城跡」(遺跡番号060)が所在していた。

『上田市の原始・古代文化』によれば、海野遺跡は届出地にかつてあった郵便局建築工事の際に、土師晩期の坏片を少量出土したとされ、分布範囲は不明である。同時に届出地は、上田城大手門の北側、三の丸の堀の東側に位置していた。

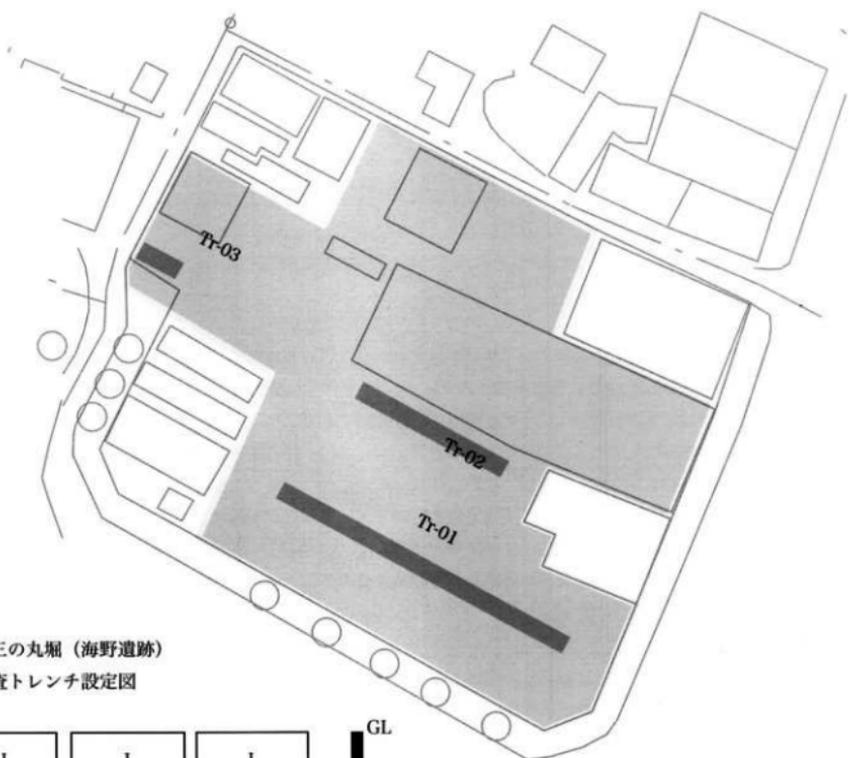
こうしたことから、事前に試掘調査を実施し、その結果をみて保護措置を検討することとなった。

## 調査の結果

調査は届出地にトレンチ3本を設定して実施した。その結果、海野遺跡に係る「土師晩期」の遺跡は確認できなかったものの、上田城三の丸堀の東縁が検出された。この結果をもとに、事業者と再度協議し、基礎工事によって破壊される部分の発掘調査を実施することとなった。



調査位置図



上田城三の丸堀（海野遺跡）  
試掘調査トレンチ設定図

I	I	I
II	II	II
III	III	III
IV	IV	IV
Tr-01	Tr-02	Tr-03



土層凡例  
 I…表土（埋立土）  
 II…旧表土  
 III…埋立土  
 IV…堀埋立土

上田城三の丸堀（海野遺跡）土層柱状図

## 2 上田城跡(御作事場跡)

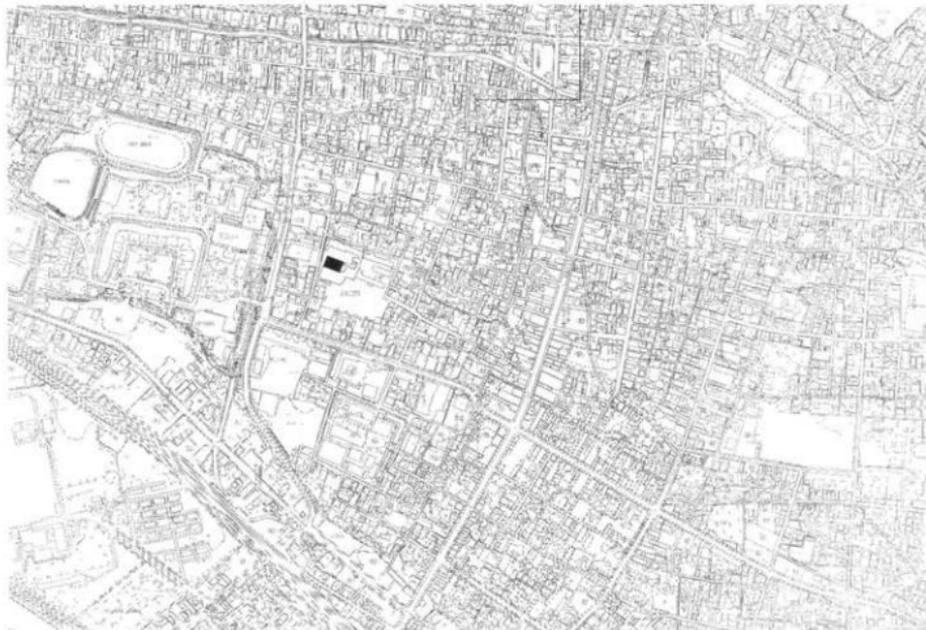
- (1) 調査地 上田市大手二丁目4番41号
- (2) 遺跡番号 上田市060
- (3) 原因 屋内体育施設建設
- (4) 調査日 平成23年10月22日
- (5) 調査方法 バックホーによるトレンチ調査
- (6) 調査面積 約55㎡
- (7) 調査担当者 中沢徳士

### 経過

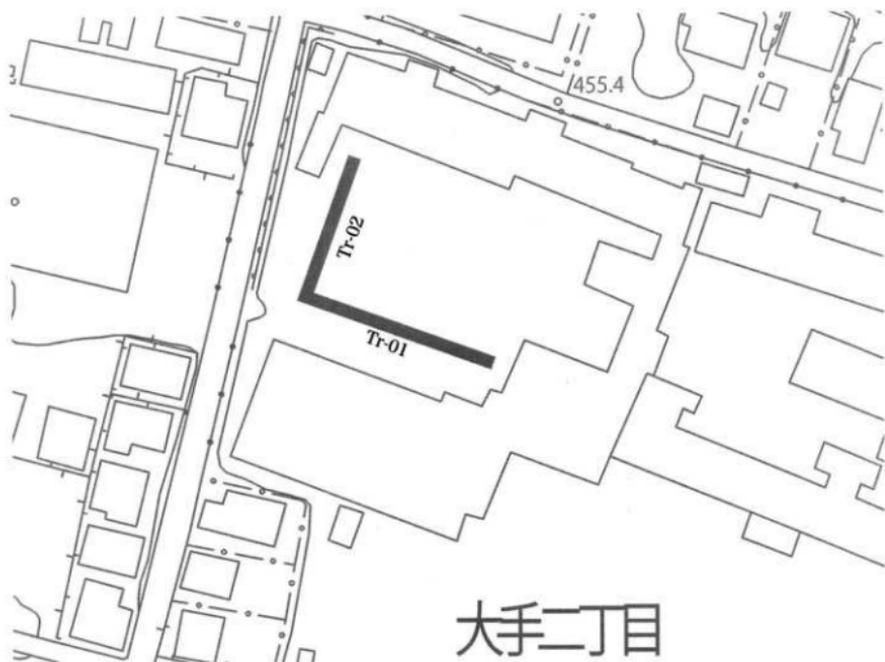
平成23年、上田市教育委員会(事務局教育総務課)は、上田市立清明小学校の屋内体育施設及び屋外プールの建設を計画した。この土地は、周知の埋蔵文化財包蔵地「上田城跡」(遺跡番号060)の「御作事場」が存在している。御作事場は、上田城の普請や修繕等を担う部署で、この清明小学校敷地がその跡とされている。こうしたことから、事前に試掘調査を実施し、その結果をみて保護措置を検討することとなった。

### 調査の結果

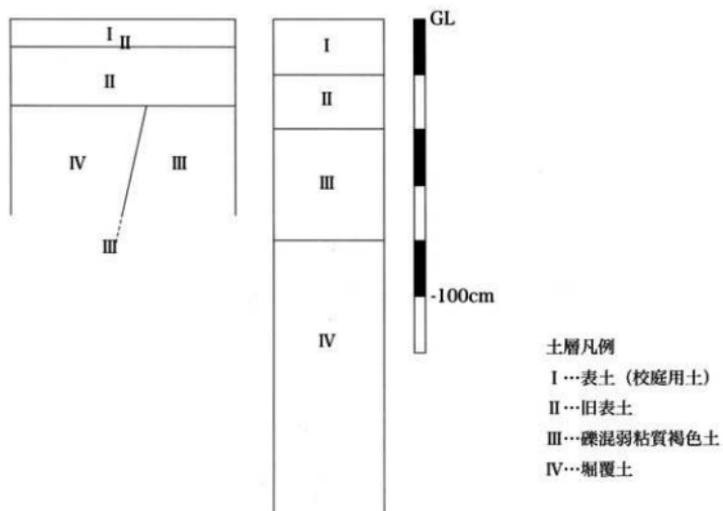
調査は届出地にトレンチを設定して実施した。その結果、上田城御作事場の堀跡が、絵図のとおりを検出された。この結果をもとに、事業者と再度協議し、工事によって破壊される部分の発掘調査を実施することとなった。



調査位置図



上田城御作事場跡試掘調査トレンチ設定図



上田城御作事場跡土層柱状図

### 3 上田城武家屋敷跡

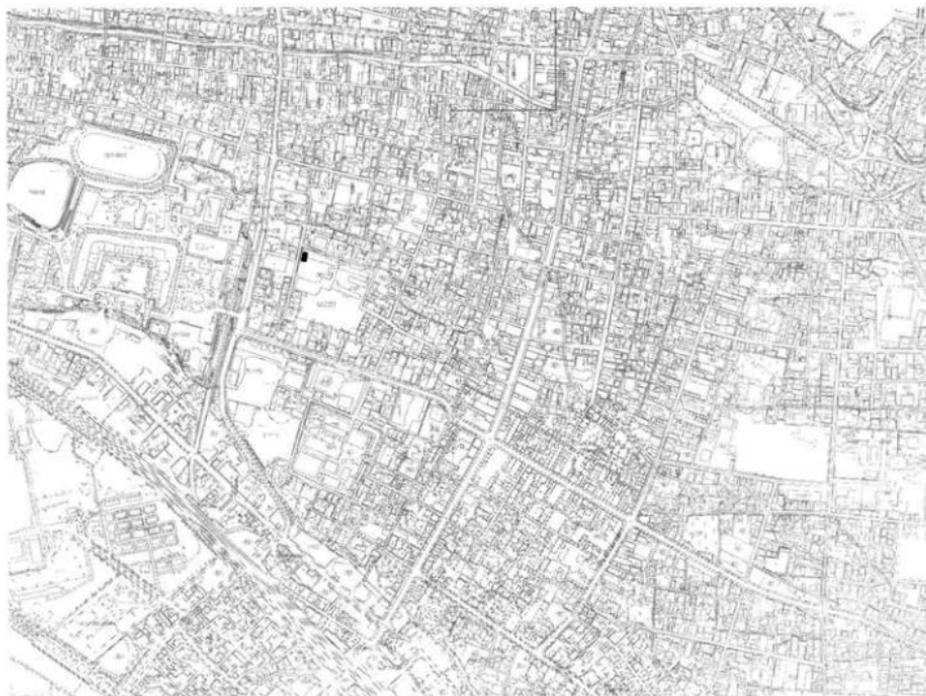
- (1) 調査地 上田市大手二丁目2番22号
- (2) 遺跡番号 上田市060
- (3) 原因 土地売買
- (4) 調査日 平成23年6月23日
- (5) 調査方法 バックホーによるトレンチ調査
- (6) 調査面積 約20㎡
- (7) 調査担当者 中沢徳士

#### 経過

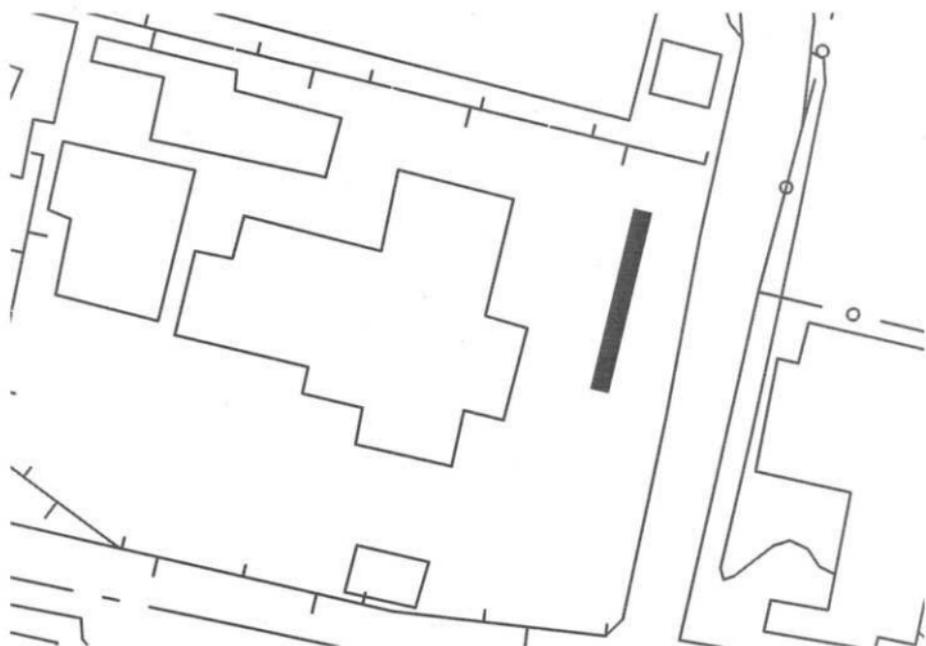
平成23年、上田市（公有財産管理課）から、上田中央消防署北の公有地の売却計画立案にあたり、当該地の埋蔵文化財の有無について照会があった。この土地は、周知の埋蔵文化財包蔵地「上田城跡」（遺跡番号060）の武家屋敷地にあたり、その遺構の有無について試掘調査を実施した。

#### 調査の結果

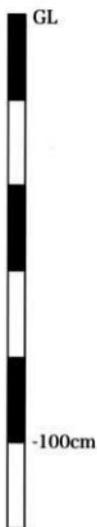
調査は当該地にトレンチを設定して実施した。その結果、武家屋敷やその他の遺構・遺物はまったく検出されなかった。



調査位置図



上田城武家屋敷跡試掘調査トレンチ設定図



土層凡例

I…表土

II…礫混弱粘質褐色土

III…礫混硬質橙色土

上田城御作事場跡土層柱状図

## 4 雁堀遺跡

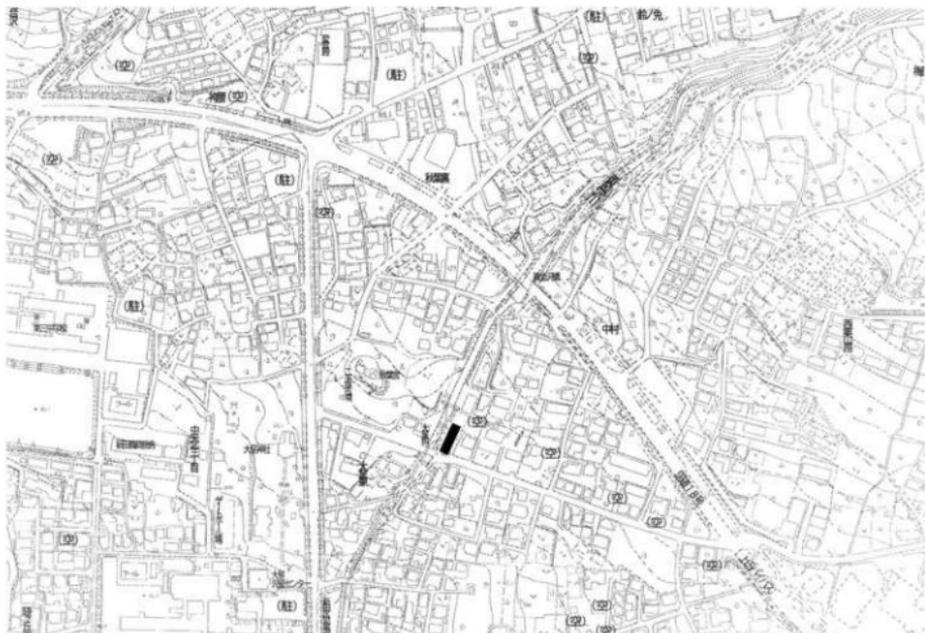
- (1) 調査地 上田市上田2037番地6
- (2) 遺跡番号 上田市062
- (3) 原因 個人住宅建設
- (4) 調査日 平成23年8月4日
- (5) 調査方法 バックホーによるトレンチ調査
- (6) 調査面積 約20㎡
- (7) 調査担当者 中沢徳士

### 経過

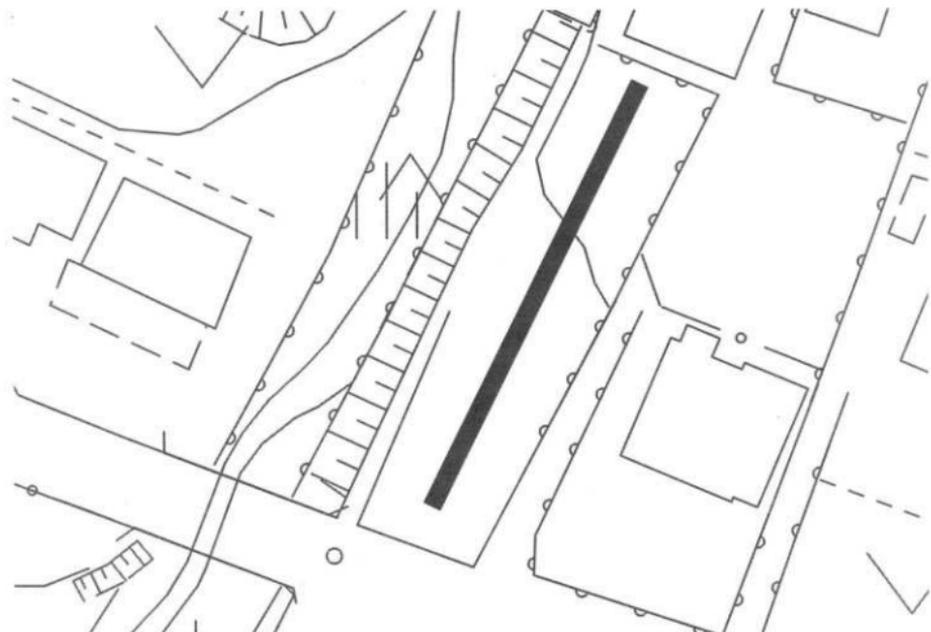
平成23年、当該地所有者から住宅建設の届出があった。この土地は、周知の埋蔵文化財包蔵地「雁堀遺跡」（遺跡番号062）にあたり、黄金沢を挟んで西側には市内では唯一の前方後円墳「二子塚古墳」（上田市指定史跡）が所在している。雁堀遺跡については、「上田市の原始・古代文化」に「北小学校の東方に、黄金沢川を隔てて相対する遺跡である。扇状地の扇央に位置するが、黄金沢川の流れによって生成した遺跡と考えられ、爾生後期の箱清水式土器、中期の土師器の破片などを出土している。分布範囲は明らかでない。」と記述され、これまでに同遺跡の発掘調査の履歴もなかったため、その遺構の有無について試掘調査を実施した。

### 調査の結果

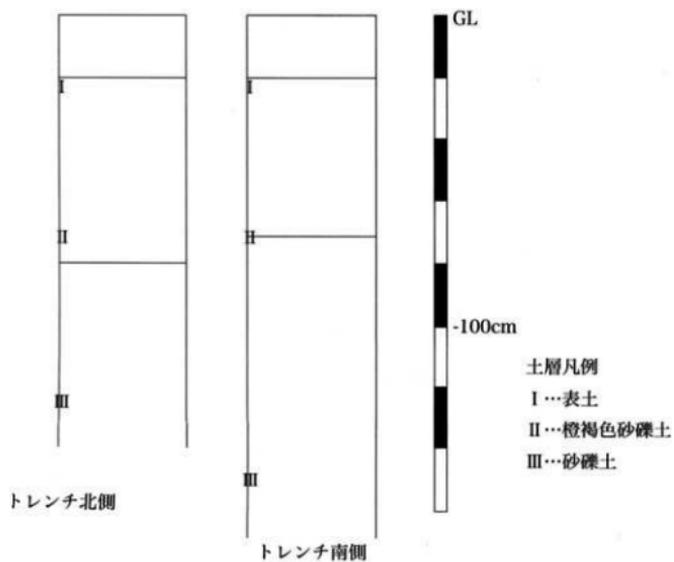
調査は当該地にトレンチを設定して実施した。その結果、武家屋敷やその他の遺構・遺物はまったく検出されなかった。



調査位置図



雁堀遺跡試掘調査トレンチ設定図



雁堀遺跡試掘調査土層柱状図

## 5 宿組遺跡

- (1) 調査地 上田市殿城字宿組
- (2) 遺跡番号 上田市
- (3) 原因 殿城地区中山間ほ場整備事業宿組地区
- (4) 調査日 平成23年8月23、24日
- (5) 調査方法 バックホーによるトレンチ調査
- (6) 調査面積 約 m<sup>2</sup>
- (7) 調査担当者 中沢徳士

### 経過

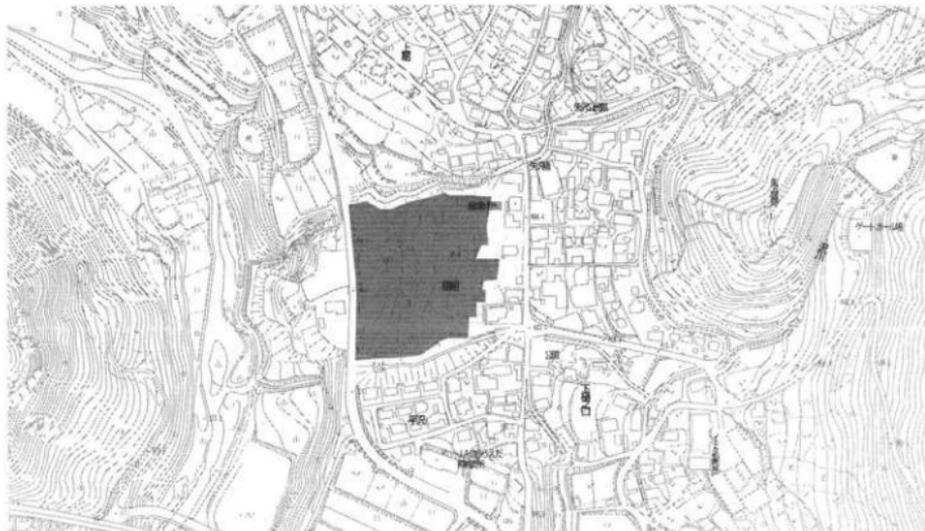
平成23年、上小地方事務所（農政課）から、上田市殿城地区の中山間ほ場整備事業計画が提示され、当該地の埋蔵文化財の有無について照会があった。計画地には、周知の埋蔵文化財包蔵地「宿組遺跡」、「矢沢古墳」、「北屋敷遺跡」、「矢沢支城」があたり、その遺構の有無について試掘調査を実施する必要が生じた。

今回は、「宿組遺跡」について試掘調査を実施した。

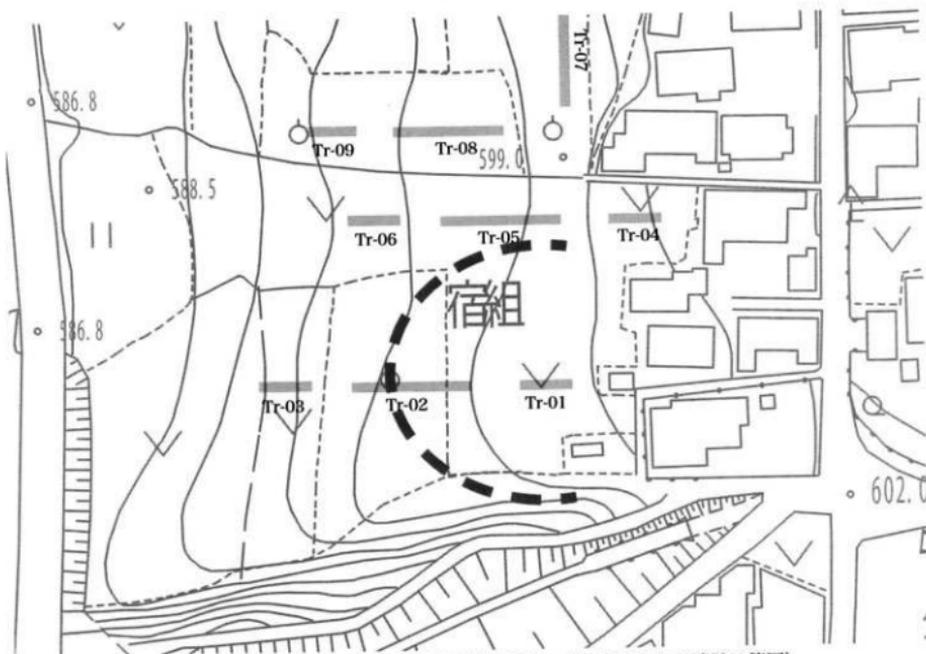
### 調査の結果

調査は当該地にトレンチを設定して実施した。その結果、Tr-01とTr-02において弥生時代後期と古墳時代後期の土器が出土し、竪穴住居址とピットの遺構が検出された。遺構検出面が、Tr-01についてはGL-70cmと深く、Tr-02はGL-40cmと浅くなっているのは、当該地域が殿城山の扇状地にあたり、その押し出しの先端部に位置していることに起因すると思われる。

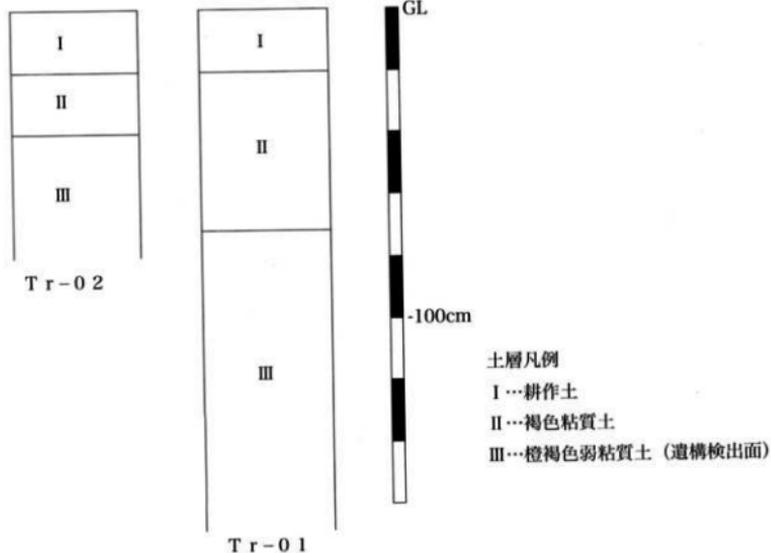
この結果を上小地方事務所へ報告し、現在、遺跡が現状保存される施工計画について検討がなされている。



調査位置図



宿組遺跡試掘調査トレンチ設定図 (赤破線が調査の結果想定された遺跡の範囲)



宿組遺跡土層柱状図

## 6 矢沢古墳

- (1) 調査地 上田市殿城字上組
- (2) 遺跡番号 上田市008
- (3) 原因 殿城地区中山間ほ場整備事業宿組地区
- (4) 調査日 平成23年12月20日
- (5) 調査方法 バックホーによるトレンチ調査
- (6) 調査面積 約60㎡
- (7) 調査担当者 中沢徳士

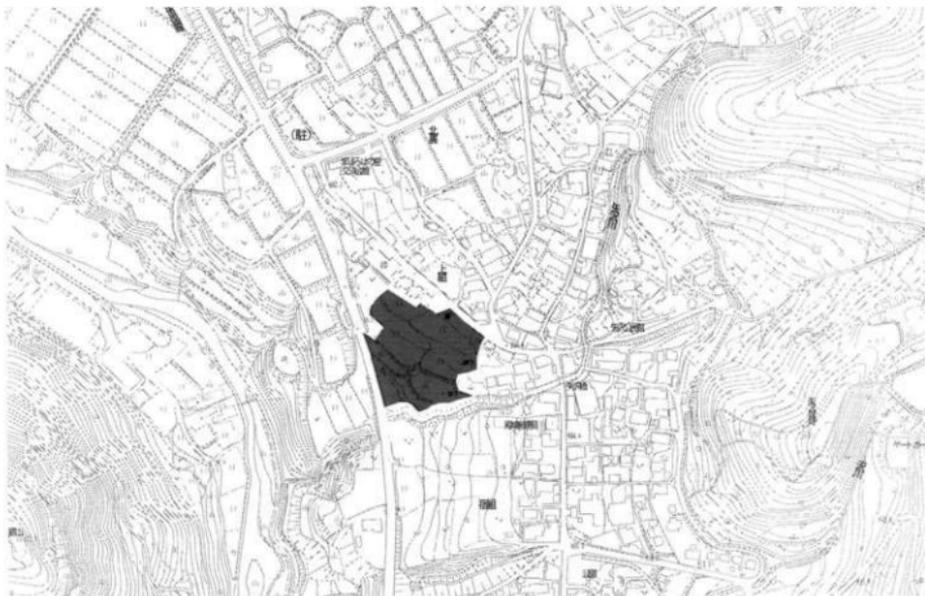
### 経過

平成23年、上小地方事務所（農政課）から、上田市殿城地区の中山間ほ場整備事業計画が提示され、当該地の埋蔵文化財の有無について照会があった。計画地には、周知の埋蔵文化財包蔵地「宿組遺跡」、「矢沢古墳」、「北屋敷遺跡」、「矢沢支城」があり、その遺構の有無について試掘調査を実施する必要性が生じた。

「矢沢古墳」は、「上田市の原始・古代文化」によれば、「いずれも破壊されて、僅かに積石の一部を残している。」と記述している。現在、その痕跡は見当たらないため、場合によれば古墳の下部構造が残存している可能性も考慮して試掘調査を実施した。

### 調査の結果

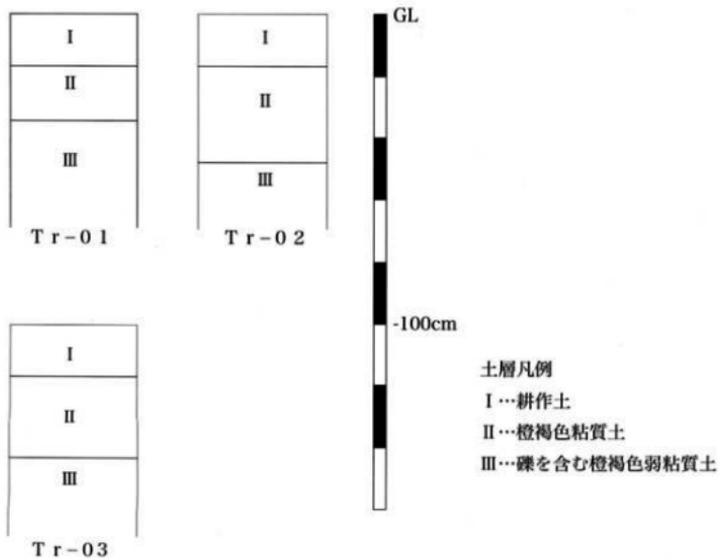
調査は当該地にトレンチを設定して実施した。その結果、当該地では遺構・遺物の検出はなかった。



調査位置図



矢沢古墳（上組地籍）試掘調査トレンチ設定図



矢沢古墳（上組地籍）土層柱状図

## 7 北屋敷遺跡

- (1) 調査地 上田市殿城字北屋敷
- (2) 遺跡番号 上田市006
- (3) 原因 殿城地区中山間ほ場整備事業宿組地区
- (4) 調査日 平成23年12月20日、平成24年2月8日
- (5) 調査方法 バックホーによるトレンチ調査
- (6) 調査面積 約80㎡
- (7) 調査担当者 中沢徳士

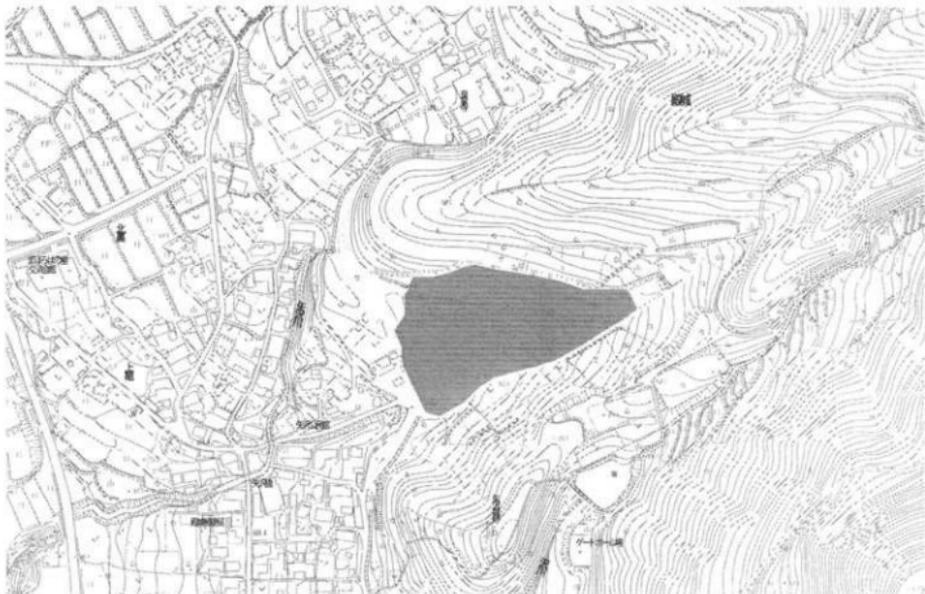
### 経過

平成23年、上小地方事務所（農政課）から、上田市殿城地区の中山間ほ場整備事業計画が提示され、当該地の埋蔵文化財の有無について照会があった。計画地には、周知の埋蔵文化財包蔵地「宿組遺跡」、「矢沢古墳」、「北屋敷遺跡」、「矢沢支城」があたり、その遺構の有無について試掘調査を実施する必要性が生じた。

「北屋敷遺跡」は、「上田市の原始・古代文化」によれば、「良泉禅寺周辺から城山北方にわたる畑地の遺跡で、一諦が宅地に利用されている。縄文中期の加曾利E式土器、石鏃。凹石・砥石、土師前・中期の坏、甕の破片などが出土している。」と記述している。

### 調査の結果

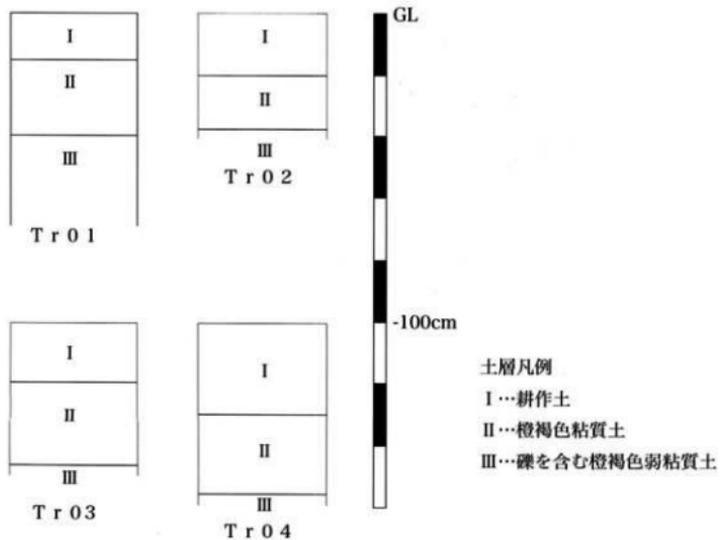
調査は当該地にトレンチを設定して実施した。その結果、当該地では遺構・遺物の検出はなかった。



調査位置図



北屋敷遺跡試掘調査トレンチ設定図



北屋敷遺跡土層柱状図

## 8 矢沢氏支城跡

- (1) 調査地 上田市殿城字古城
- (2) 遺跡番号 上田市407
- (3) 原因 殿城地区中山間ほ場整備事業宿組地区
- (4) 調査日 平成23年12月21日
- (5) 調査方法 バックホーによるトレンチ調査
- (6) 調査面積 約150㎡
- (7) 調査担当者 中沢徳士

### 経過

平成23年、上小地方事務所（農政課）から、上田市殿城地区の中山間ほ場整備事業計画が提示され、当該地の埋蔵文化財の有無について照会があった。計画地には、周知の埋蔵文化財包蔵地「宿組遺跡」、「矢沢古墳」、「北屋敷遺跡」、「矢沢支城」があたり、その遺構の有無について試掘調査を実施する必要性が生じた。

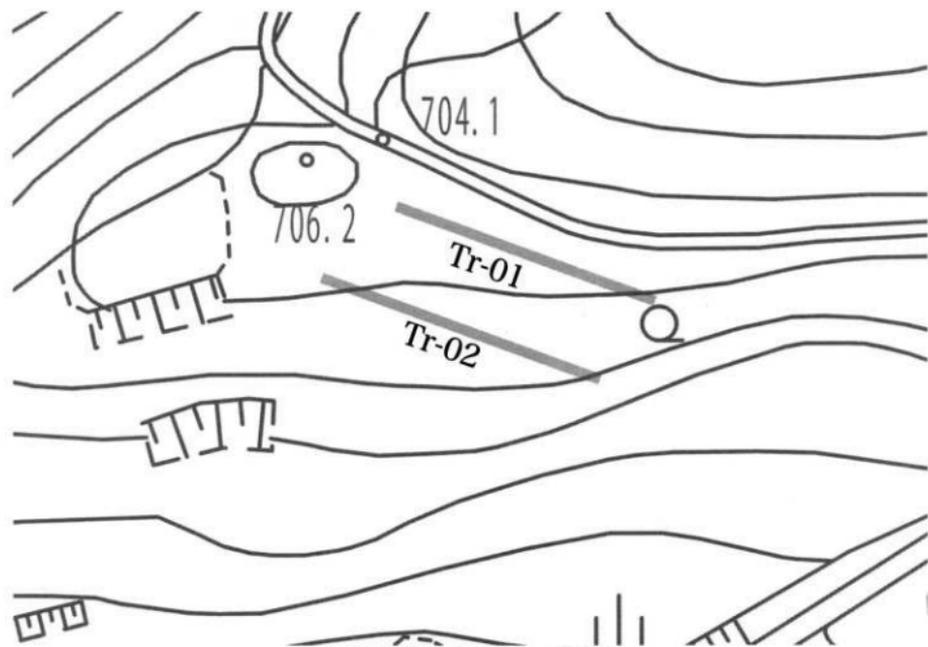
「矢沢氏支城跡」は、その詳細がはっきりとしないため、この試掘調査により城跡の範囲をつかもうとしたものである。

### 調査の結果

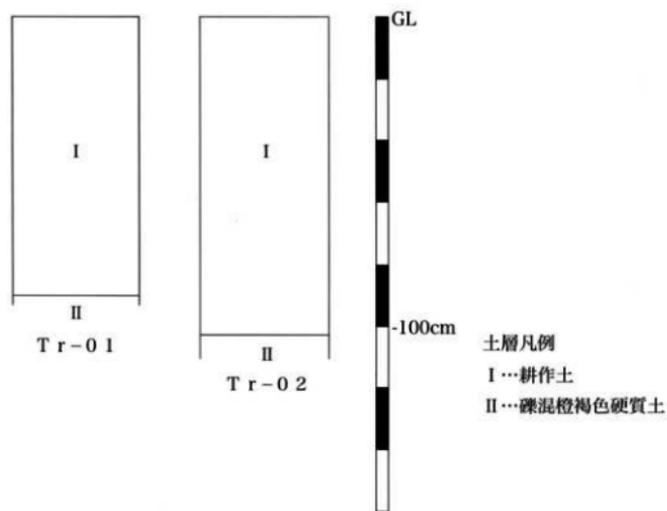
調査は当該地にトレンチを設定して実施した。その結果、当該地では遺構・遺物の検出はなかった。



調査位置図



矢沢氏支城試掘調査トレンチ設定図



矢沢氏支城跡土層柱状図

## 9 上田城跡(小泉曲輪)

- (1) 調査地 上田市常磐城二丁目4番
- (2) 遺跡番号 上田市060
- (3) 原因 宅地造成
- (4) 調査日 平成23年12月7日
- (5) 調査方法 バックホーによるトレンチ調査
- (6) 調査面積 約55㎡
- (7) 調査担当者 中沢徳士

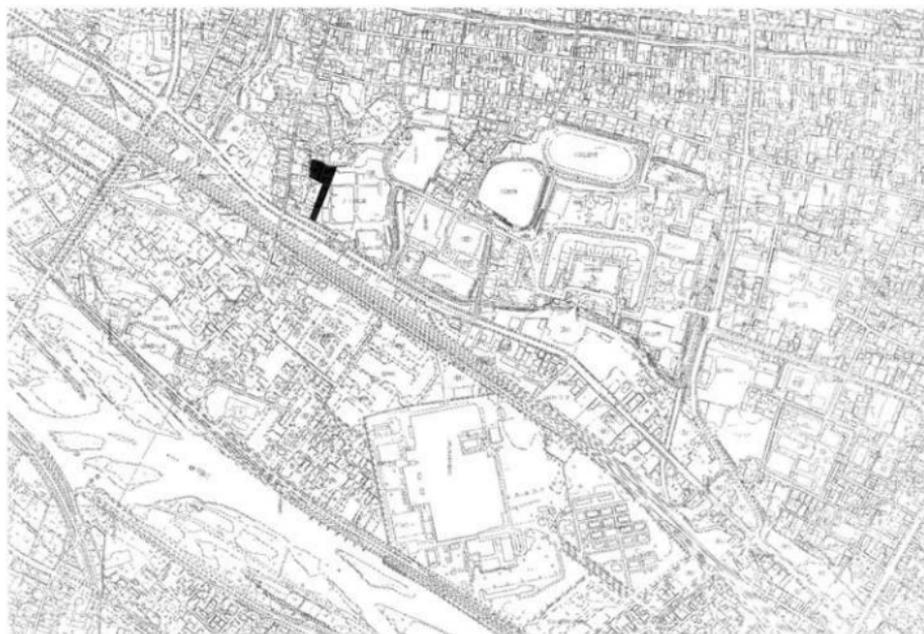
### 経過

小泉曲輪は、「信州上田城」(昭和61年 郷土出版社)によれば、「真田昌幸がこの地に築城したのは、小泉氏の城砦跡がすでにあつたのを利用したのではないかといわれる。」と記されている。

今回、当該地に住宅団地を造成する計画がもちあがり、施工の前に遺跡の確認調査を実施して、その結果をみて保護措置を検討することとなった。

### 調査の結果

調査は届出地にトレンチを設定して実施した。その結果、当該地には曲輪やその他の遺構・遺物はなかった。



調査位置図



上田城跡小泉曲輪試掘調査トレンチ設定図



- 土層凡例
- I…耕作土
  - II…粘性黒褐色硬質土
  - III…暗赤褐色土（地山）

上田城跡小泉曲輪土層柱状図



調査着手前（東南東から）



Tr-01 掘削状況（西から）



Tr-01 土層断面（西北西から）



調査着手前（西南西から）



Tr-01 土層断面（東南東から）



Tr-01 掘削状況（東から）



調査着手前（東から）



トレンチ掘削状況（北東から）



トレンチ土層断面（南東から）



調査着手前（北から）



Tr-01 掘削状況（北北東から）



Tr-01（南から）



Tr-02 (西から)



Tr-03 (西から)



トレンチ埋め戻し (東から)



Tr-01 (東から)



Tr-02 (南から)



Tr-03 (北から)



遺跡近景（北東から・手前が調査地。  
正面は矢沢城）



Tr-01（南から）



Tr-03（西から）



Tr-01 (東から 写真奥の高まりが支城の本郭か)



Tr-02 (東から)



調査地 (東から 写真奥が本郭、写真右の凹みが塹堀か)



Tr-01 (西から)



Tr-04 (北から)



Tr-05 (西から)

## 報告書抄録

ふりがな	しないいせき
書名	市内遺跡
副書名	平成23年度市内遺跡発掘調査報告書
シリーズ名	上田市文化財調査報告書
シリーズ番号	第114集
編著者名	中沢徳士
編集機関	上田市教育委員会
所在地	〒386-0025 長野県上田市天神二丁目4番55号 TEL0268(23)6361
発行年月日	西暦2012年3月25日

上田市文化財調査報告書第114集

### 市内遺跡

平成23年度市内遺跡発掘調査報告書

発行日 平成24(2012)年3月25日

発行 上田市・上田市教育委員会

長野県上田市天神二丁目4番55号 TEL0268(23)6361

印刷 一喜堂印刷

